

第6学年 体育科学習指導案

日 時 令和5年8月31日(木) 5校時

児 童 6年2組 20名

指導者

1 単元名 体づくり運動(体の動きを高める運動)～心も体も元気になろう!～

2 単元について

(1) 教材について

学習指導要領第5学年及び第6学年A体づくり運動は、「体ほぐしの運動」及び「体の動きを高める運動」で構成され、運動の楽しさや喜びを味わうとともに、中学年までに身に付けた体の基本的な動きをもとに、体の様々な動きを高めるための運動である。また、体力の向上を重視し、総合的に調和のとれた体力の育成を図ることをねらいとしている。

(2) 子どもたちについて

体育の学習に意欲的で、めあてに向かって全力で取り組む児童が多く、よりよい動きのこつを探る学習では、課題に対する考えをもつことができるようになってきた。また、自分の動きをよくするために、お互いの動きを見たり、教え合ったりする学習経験を重ねてきた。一方、苦手な運動やできない技があると学習に消極的になる児童や自分の動きを言葉で表現することが難しい児童もいる。

(3) 指導にあたって

指導にあたって、本単元では、友達と協力しながら、体づくり運動の楽しさや喜びを児童全員が味わうことができるよう、学び合いを工夫していきたい。

3 単元の目標と評価規準

(1) 体の動きを高める運動の行い方を理解するとともに、ねらいに応じて、体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めるための運動をすることができるようにする。【知識及び運動】

(2) 自己の体力に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】

(3) 体の動きを高める運動に進んで取り組み、約束を守りながら、仲間の考えや取組を認めたり、場や用具の安全に気を配ったりすることができるようにする。【学びに向かう力、人間性等】

【知識・技能】 ①体力の必要性や体の動きを高めるための運動の必要性について言ったり、書き出したりしている。

②自分の体と各種の用具を使って、ねらいに応じた運動を行っている。

【思考・判断・表現】 ①自分の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を選んだり、工夫したりしている。

②自己やグループで考えた運動の行い方を他者に伝えている。

【主体的に学習に取り組む態度】

①運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。

②用具の使い方や安全に気を配っている。

4 単元の指導計画(6時間)

時	学習活動	評価の観点
1	体の動きを高める運動の学習の見通しをもつ。	【知技】①
2	体の柔らかさを高める運動と力強い動きを高めるための運動について理解し、それぞれの運動に取り組む。	【態度】①
3	巧みな動きを高めるための運動と持続する能力を高めるための運動について理解し、それぞれの運動に取り組む。	【態度】②
4 5(本時)	既習事項を生かしながら、自己の体力に応じた運動を選択し、運動の工夫の仕方や動きのポイントを他者に伝えられるようにする。	【思判表】① 【思判表】②
6	運動のねらいを確かめながら、友達が考えた運動に取り組む。	【知技】②

5 本時の指導（5／6）

(1) 本時の目標と評価規準

本時の目標	評価規準 A	評価規準 B
自己の体力に応じた課題や行い方を工夫して、運動することを楽しむ。	自分の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫し、運動することを楽しみながら、自己や仲間の考えたことを他者に分かりやすく伝えている。	自分の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫し、運動を楽しみながら、動きの様子を伝えている。

(2) 指導の構想（「つなぐ」視点と ICT 活用について）

〔教材とつなぐ〕 展開場面において、試行錯誤を繰り返しながら運動が行えるように、基本的な動きやねらいに応じた動きを高める工夫の仕方を例示し、子どもとテキストをつなぐ。

〔他者とつなぐ〕 自分達の動きの工夫を学び合う中で、ロイロノートを利用して、動きの様子を撮影し、動きを確認したり、アドバイスを送り合ったりしながら、子どもと子どもの考えをつなぐ。

(3) 展開

段階	学習内容	指導上の留意点（・支援 ○評価）	準備物 ICT 活用
導入 10分	1. 集合、挨拶を行う。 2. 体ほぐしの運動に取り組む。 3. 本時の課題を把握する。	・友達と関わり合いながら、心と体の関係に気付けるようにする。	
展開 23分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ④ 自分の考えた「おすすめの動き」を紹介できるようにしよう。 </div> 4. 個人で計画を立てて、体の動きを高める運動に取り組む。 A 体の柔らかさを高めるための運動 B 力強い動きを高めるための運動 C 巧みな動きを高めるための運動 D 動きを持続する能力を高めるための運動	・前時の学習やふりかえりを生かしながら、課題を選択させていく。 ・次時に自分が考えた「おすすめの動き」を友達に紹介することを意識させながら、工夫の仕方や動きのポイントを紹介できるようにさせる。 ・必要であれば動画の撮影や視聴も行うが、運動する時間を十分に確保できるようにする。 ・A～D のグループごとに協力しながら、個人の課題を達成できるようにする。 ・動きを分析したり、友達同士で動きの様子やアドバイスを送り合ったりしている場面を取り上げ、学級で共有する。	学習カード タブレット 掲示物 ロイロノートでの 動画撮影
	終末 12分	5. 振り返りをする。 6. 集合、挨拶を行う。	・「おすすめの動き」紹介カードに、工夫のポイントや動きのポイントを記入し、友達に伝えられるようにする。 ○自分の体の状態や体力に応じて、運動の行い方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。【思判表】